

## 効果報告レポート

【事業者名】

株式会社 NTTドコモ/イースト株式会社

【ツール名】

English 4skills/辞書アプリ DONGRI®

【ツールの機能分類】

オンライン語学学習/  
デジタル教材（国語、英語）

2022年2月

4種の英語力をオンラインで身につける

# English 4skills®

イングリッシュフォースキルズ

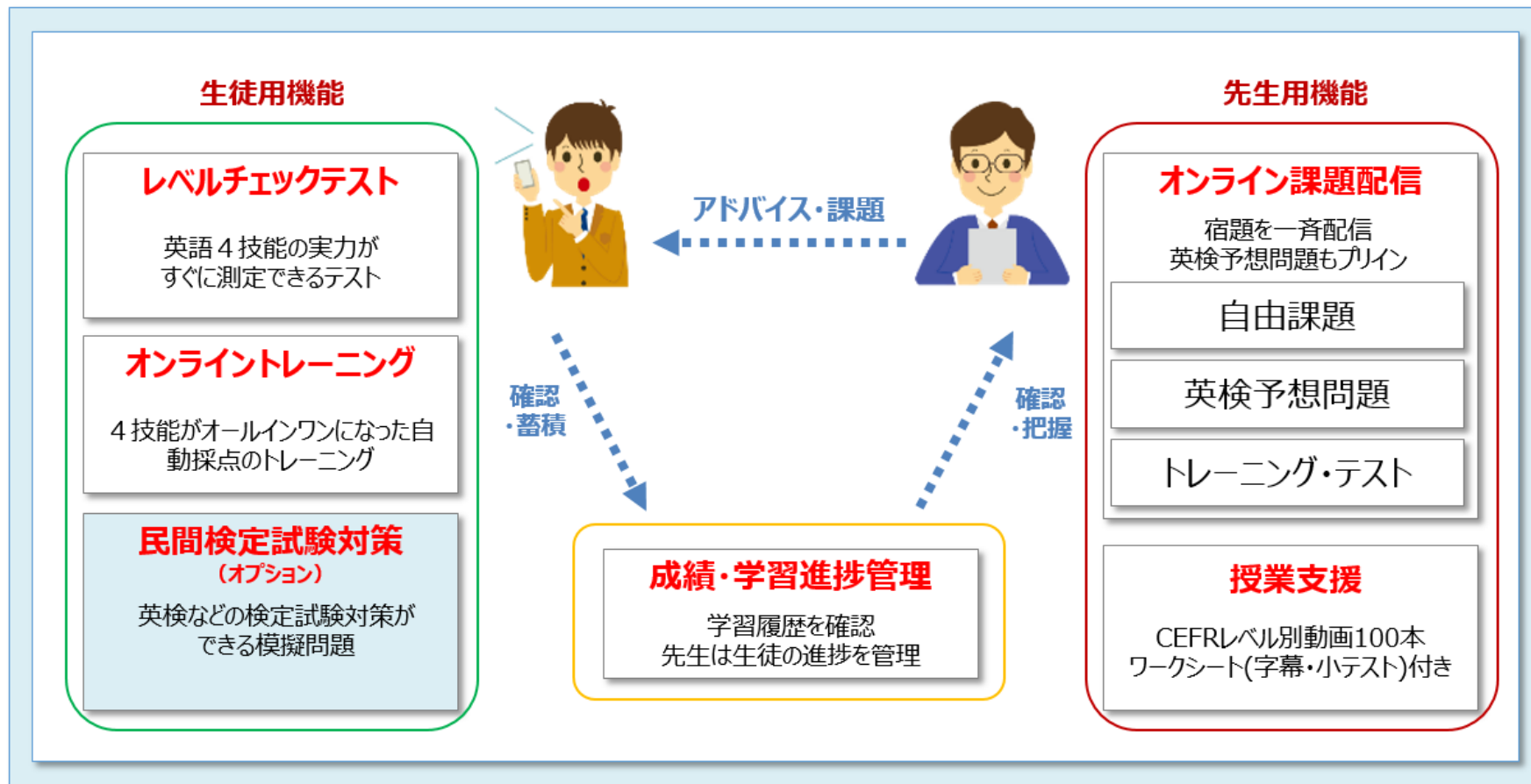




学校向け英語 4 技能オンライン学習サービス

# English 4skills

英語4技能の学習をオンラインで行い、  
英語の検定試験対策も行える学校向けサービスです。  
※PC・タブレット・スマートフォン対応



## Point 1

アダプティブな演習と  
レベルチェックテストで  
生徒のレベルに合わせた個別最適学習！

## Point 2

生徒の学習の継続につながる  
先生の見守りをサポートしながら  
稼働も削減！

## Point 3

英検などの模擬問題による  
英語の検定試験対策！

※EdTech導入実証事業においては民間検定試験対策（オプション）は未提供

## ■ 学校等教育機関の抱える課題

### ①遠隔・オンラインの学習環境への対応

GIGAスクール構想はじめとしたICTツールの普及に加え、昨今の新型コロナウイルスの影響からも、学校に通えず自宅等にいる状況であっても学びを止めることなく、いつでもどこでも場所を選ばない新たな学び環境への対応が必要

### ②個別最適な学習への対応

発達障害や日本語指導の必要可否、特異な才能を持つ子どもなど多様な児童・生徒が誰一人取り残されることがない社会のために、能力に応じた異年齢・異学年集団の協同学習のような年齢や学年ではなく、児童・生徒の能力に合わせた学習環境の提供が必要

### ③先生の働き方の改善

教員勤務実態調査などからも、定められている勤務開始・終了時刻をオーバーしている実態が取り上げられるなど、世間でも「教師＝多忙で大変な職業」と認知される程、教職員の働き方改革は急務

### 「English 4skills」の導入で…

①

PC/タブ/スマホ対応で  
学校内外問わずいつでも  
どこでも学習可能！

②

豊富なコンテンツとAI技術  
等により生徒個々の最適な  
学習を実現！

③

課題作成・配信/自動採点/  
成績管理等も楽々で先生の  
業務負担を軽減！

## 枚方市内の中学校での取り組み

### Speakingの練習に活用

Speakingの音読トレーニングを  
イヤホンなしで一斉に実施

#### 【効果】

授業内で1人で発表(発話)する時と異なり、  
全員が同時に発話することで個人に注目されない  
点から生徒が恥ずかしがらずに発話、発音の練習  
に取り組むことができる

### 英語の外部試験対策に活用

外部検定試験の受験を目指す生徒にEnglish 4skillsの  
機能の一つであるレベルチェックテストの受験を奨励

#### 【効果】

レベルチェックテストを受検することで  
自分の習熟度がどのレベルにあるのかが判定できる事  
や、  
技能別の得意不得意が可視化できるため、  
無駄なく試験を受けることができるように。

### 授業内の自習に活用

授業内の課題に取り組む時間中、  
早めに終わった生徒にはEnglish 4skillsの  
トレーニングに取り組むよう指示

#### 【効果】

短い時間でも繰り返し授業で触れることで、  
生徒が自主学習で活用する割合も増加



写真：  
English 4skillsを利用する生徒  
(提供：枚方市教育委員会)



## ■ 補助事業において実施したサポート内容

### 【サポート体制】

- ・ サービス主管部の本社社員：オンラインサポート、問い合わせ対応
- ・ 全国エリア担当の支社、支店社員：現地訪問サポート、問い合わせ対応

※コロナ禍で東京本社から訪問するのは憚られる情勢であったが、  
全国の支社支店と連携し、遠方含む全国の学校に訪問サポートを提供

現地訪問した社員(上段中央)がオンラインで接続



### 【実施したサポート】

#### 初期設定・セットアップ

- ・ 利用者もしくは導入先の管理者が行う各種設定を代行
- ・ 学年、クラス、グループの事前設定、利用者情報の一括登録、等

※利用開始前に実施していただく設定を、本事業に於いては円滑な利用開始を目指し代行実施サポート

#### 操作・利用方法等についての導入研修/利活用促進研修

- ・ 実際の画面操作を行いながら操作方法のレクチャー
- ・ 課題の作成・配信、成績管理画面の見方、生徒の利用する学習コンテンツの体験、等

※要望のあった学校には追加研修を実施し、より具体的な活用方法について紹介

#### その他

- ・ 定例会開催による自治体・学校・事業者の3者による活用の進捗確認と振り返りの実施

※定期的に学習利用状況データ等を提示し、課題や要望等を確認した上で3者それぞれが必要な行動をすり合わせ

## ■ 補助事業において実施したサポート内容

### ● 実証自治体、学校を集めての情報共有・情報交換のためのオンライン意見交換会を開催



#### 【実施概要】

- ・ 2021年12月11日（土）
- ・ オンラインミーティング形式
- ・ 希望者のみ参加
- ・ EdTech専門家を招いての講演と参加者同士のグループディスカッション
- ・ 事前に全参加校にアンケート調査を依頼し、課題などを洗い出し、情報共有

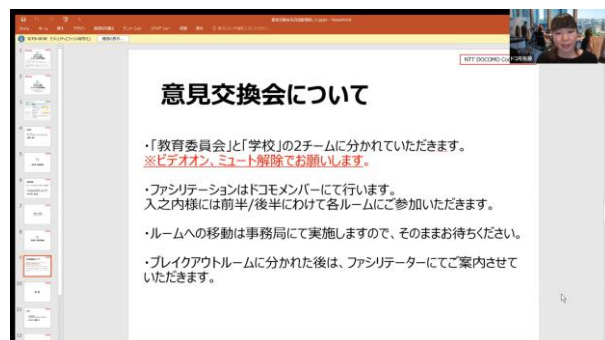


#### 【目的】

EdTech実証に参加中の自治体・学校を対象にEdTechの現場活用の最新の情報提供と交流の機会を提供

#### 【参加者】

8名（自治体4名・学校4名）



#### 【講演者・ファシリテーター】

平井聡一郎氏（文部科学省ICT活用教育アドバイザー）

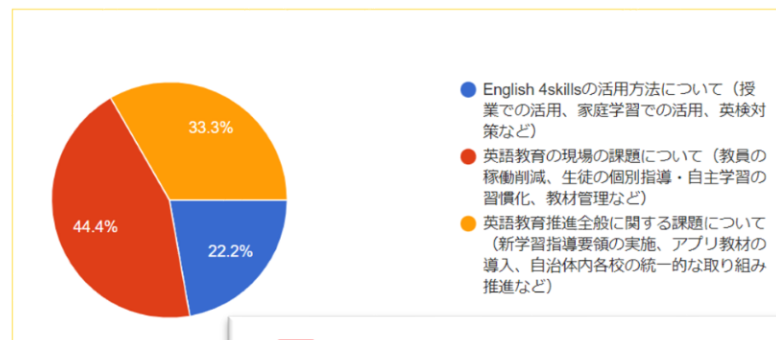
入之内昌徳氏（茨城県教育庁 学校教育部 義務教育課 指導主事）

NTTドコモEnglish 4skills担当（奥野・川本・吉永・佐藤）

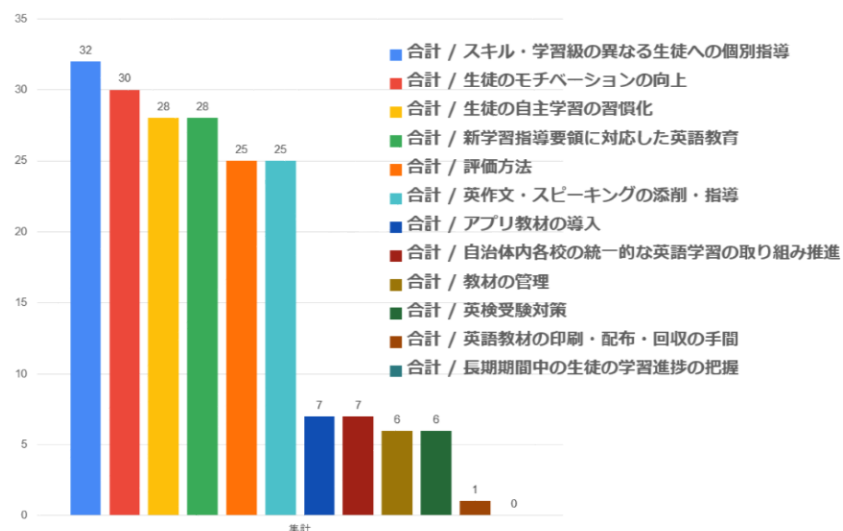
# ■ 補助事業において実施したサポート内容

## ●意見交換会の事前アンケートの結果共有（n=83）

### 意見交換会でディスカッションしたいこと



### 英語教育で課題に感じていること



### これまでに取り組まれた効果的な英語教育の取り組み

#### 【教育委員会】

- 小中合同研修での学習内容の共有
- 町による英検受験料の補助

#### 【学校】

- Googleサイトをポートフォリオとして活用し、授業の終わりに本時に学習した内容を簡単にまとめさせている。また、次時の導入では自分のサイトを振り返り、本時のめあてに繋げる等の活用もできる。生徒自身が自分の学びを整理整頓でき、評価のしやすさにも繋がる。
- Keynoteを使っておすすめの国や動物について紹介する活動
- 遠隔授業による他校との英語でのコミュニケーション パフォーマンステスト
- Small Talk（既習事項を使って話す活動）
- 授業のSmall Talkを、家庭学習で取り混ぜ、タブレットで添削をする。
- ALTとの会話練習
- フォニックス
- 語彙力を高めるために毎週単語連読

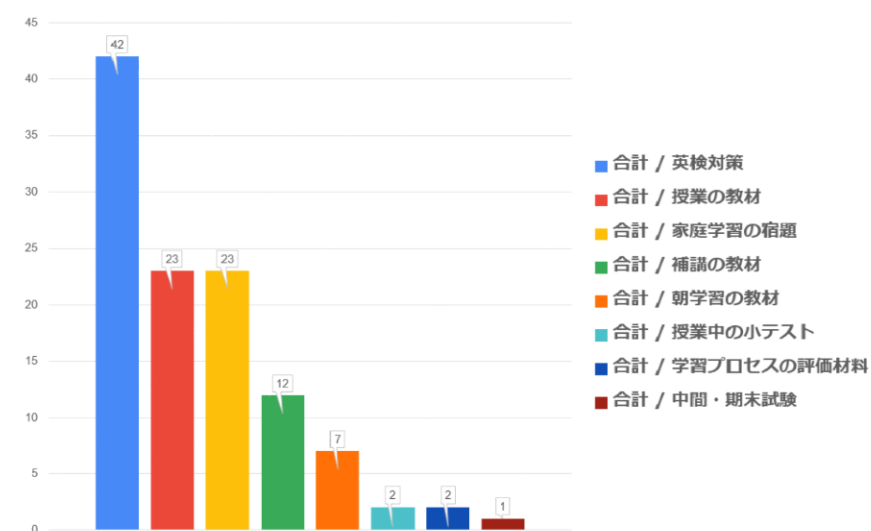
STEAM教育

アクティブラーニング

PBL

パフォーマンステスト

### English 4skillsをどのように活用していますか

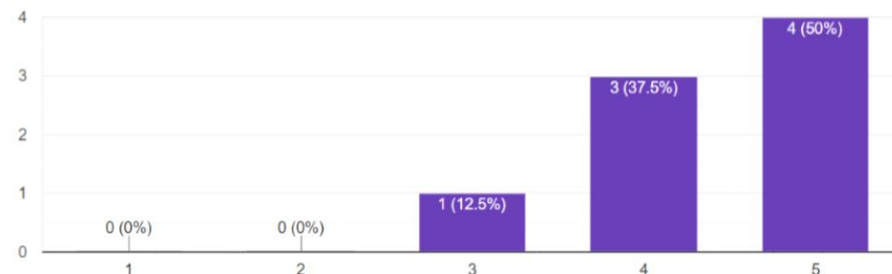


## ■ 補助事業において実施したサポート内容

### ●意見交換会の事後アンケート（n=8）：講演・グループディスカッションの満足度「高」

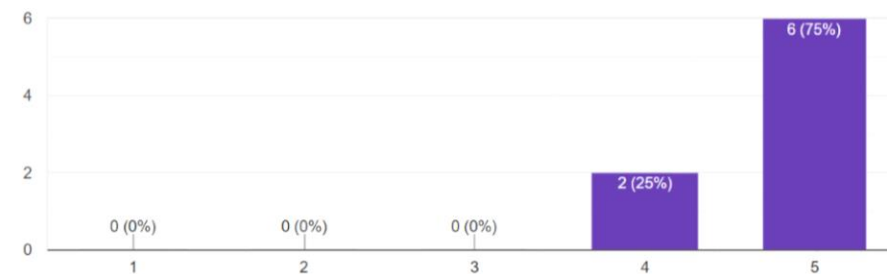
前半の基調講演（平井先生・入之内先生パネルディスカッション）はいかがでしたか

8件の回答



後半の意見交換（ブレイクアウトルームでのディスカッション）はいかがでしたか

8件の回答



上記回答の理由をお聞かせください

8件の回答

これからの英語教育の方向性について確認することができた。

新たな考え方の発見や、今やっていることが何につながるかを認識することができたから。

今の教育の流れといった概論的な所から話していただいたので、非常に分かりやすく、E4Sの利用の必然性に結びつけることができた。

他市町の実践を知ることができた

将来の英語教育と、4skillsのコラボレーションをイメージできたため。

ICTを活用して個別最適な指導をする必要性を強く感じました。

入之内先生のお話が非常に参考になりました。

すみません。第2部からの参加のため、真ん中にさせていただきます。

上記回答の理由をお聞かせください

7件の回答

質問や意見を述べることができ、また回答をいただくことができた。

全国の先生方との交流はとても貴重で、なかなか得られる経験ではないと思ったから。学ぶことがたくさんあったから。

京都市の実践発表が非常に面白く、とても勉強になった。自治体として取り組んでいる方の実践発表は、非常に面白く、大変参考になった。

周囲の学校ではこのアプリを使用していないため。具体的な使用方法がわかった。

いまだに活用しきれていない感があったのだが、他校の実践を聞いたり、課題に感じていることを聞くと今後どうしていったらよいか少し期待が持てたように感じました。

他の自治体での実践がわかりました。今後の参考にさせていただきます。

好事例だけでなく、気をつけるべきポイントについても教えていただくことができたから。

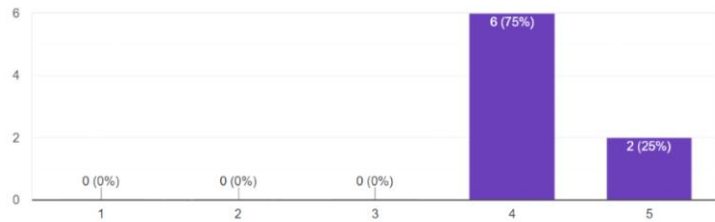


## ■ 補助事業において実施したサポート内容

### ●意見交換会の事後アンケート（n=8）：新しい情報を吸収でき、ICT活用の推進に役立ちそう（総評）

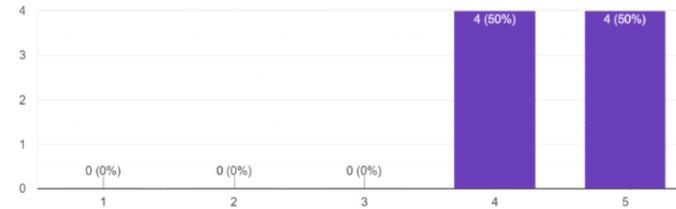
本日の意見交換会によって今後English 4skillsをよりうまく活用できそうですか

8件の回答



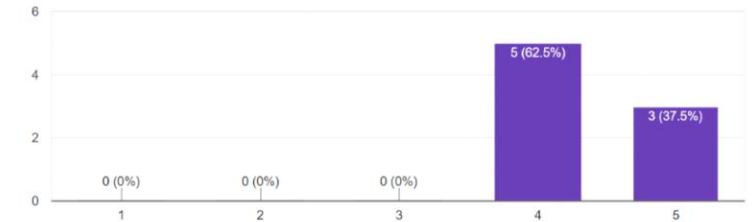
本日の意見交換会によって今後のICT×英語の活用促進に向けた気づきとなる新たな情報等を得られましたか？

8件の回答



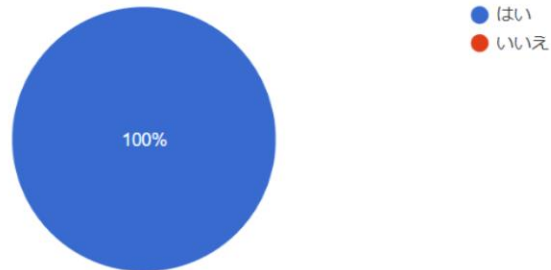
今後、他の自治体や学校との交流の機会があれば参加したいと思いますか

8件の回答



今後の交流を目的に、本日の参加者に連絡先（メールアドレス）を共有してもよいですか

8件の回答



ドコモに対して、またはサービス（English 4skills）への要望やご意見があればお聞かせください

3件の回答

生徒や保護者、他教科の同僚、管理職に向けての説明資料などいただき、啓発・情報共有をしたい。

質問や、設備等何かあったときに素早く、丁寧に対応していただきとても感謝しています。今日のような交流会を開催していただき、本当にありがとうございました。

本日はありがとうございました。

## ●21自治体 78校、8学校法人 9校の小学校/中学校/高校へ導入

### 自治体・公立

| 自治体名         | 導入校          | 利用人数<br>(English 4skills) | 利用人数<br>(DONGRI®) |
|--------------|--------------|---------------------------|-------------------|
| 益城町教育委員会     | 中学校2校        | 1081名                     | 1081名             |
| 京都市教育委員会     | 中学校4校        | 1430名                     | 1430名             |
| 愛媛県教育委員会     | 高校1校         | 287名                      | 287名              |
| 肝付町教育委員会     | 中学校1校        | 229名                      | 231名              |
| 東海村教育委員会     | 中学校2校        | 1179名                     | 1179名             |
| 八代市教育委員会     | 中学校15校       | 3080名                     | 3080名             |
| 南阿蘇村教育委員会    | 中学校1校        | 319名                      | 319名              |
| 和水町教育委員会     | 中学校1校        | 91名                       | 91名               |
| 山鹿市教育委員会     | 中学校2校        | 223名                      | 223名              |
| 下仁田町教育委員会    | 中学校1校        | 96名                       | 108名              |
| 飯能市教育委員会     | 小学校12校、中学校7校 | 6003名                     | 6003名             |
| 阿武町教育委員会     | 小学校2校        | 99名                       | 178名              |
| 山江村教育委員会     | 中学校1校        | 148名                      | 148名              |
| 球磨村教育委員会     | 中学校1校        | 95名                       | 95名               |
| 西原村教育委員会     | 小学校1校        | 153名                      | 153名              |
| つくばみらい市教育委員会 | 小学校10校       | 1395名                     | 1395名             |
| 東大阪市教育委員会    | 高校1校         | 760名                      | 760名              |
| 天城町教育委員会     | 小学校1校        | 118名                      | 118名              |
| 白岡市教育委員会     | 小学校5校、中学校3校  | 2289名                     | 4071名             |
| 枚方市教育委員会     | 中学校2校        | 1518名                     | 1518名             |
| 天理市教育委員会     | 小学校1校、中学校1校  | 56名                       | 56名               |

### 私学

| 学校名            | 利用人数<br>(English 4skills) | 利用人数<br>(DONGRI®) |
|----------------|---------------------------|-------------------|
| 熊本中央高等学校       | 847名                      | 847名              |
| 城北高等学校         | 708名                      | 708名              |
| 長崎南山高等学校       | 653名                      | 653名              |
| 長崎南山中学校        | 66名                       | 66名               |
| 小松大谷高等学校       | 65名                       | 65名               |
| ドルトン東京学園中等部    | 376名                      | 376名              |
| 作新学院高等学校       | 209名                      | 209名              |
| 山本学園高等学校       | 121名                      | 121名              |
| 北海道教育大学附属函館中学校 | 326名                      | 341名              |

(参考) NTTドコモ プレスリリース

▼2021/8/24

[https://www.nttdocomo.co.jp/binary/pdf/info/news\\_release/topics\\_210824\\_00.pdf](https://www.nttdocomo.co.jp/binary/pdf/info/news_release/topics_210824_00.pdf)

▼2020/8/13

[https://www.nttdocomo.co.jp/binary/pdf/info/news\\_release/topics\\_200813\\_00.pdf](https://www.nttdocomo.co.jp/binary/pdf/info/news_release/topics_200813_00.pdf)

## ■ EdTechツールの活用効果にかかる分析と考察

### ●約140万のトレーニング取組実績（うち正答率62.8%）

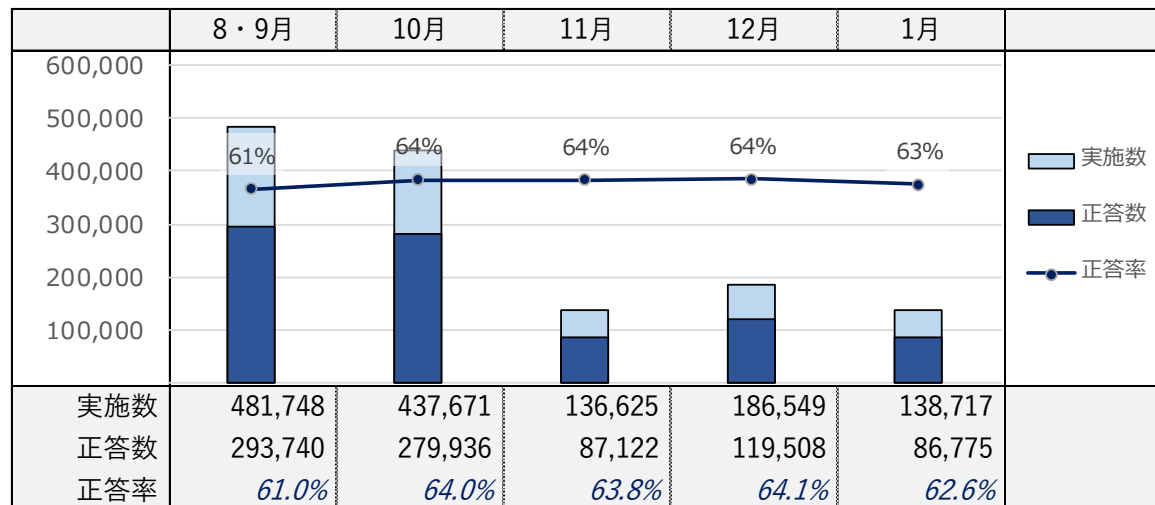
#### トレーニング 取組状況（コンソーシアムサービス別）

[集計期間]2021/8/23～2022/1/23

| コンソーシアムサービス名                 | 学校数 | 全体        |           | 1人当たり平均 |      | 正答率   |
|------------------------------|-----|-----------|-----------|---------|------|-------|
|                              |     | 実施数       | 正答数       | 実施数     | 正答数  |       |
| EdTech実証校 計                  | 112 | 1,666,368 | 1,038,467 | 59.6    | 37.1 | 62.3% |
| English 4skills × DONGRI®    | 87  | 1,381,310 | 867,081   | 62.3    | 39.1 | 62.8% |
| English 4skills × Libry      | 18  | 247,592   | 149,383   | 48.3    | 29.1 | 60.3% |
| English 4skills × スクールライフノート | 7   | 37,466    | 22,003    | 57.5    | 33.7 | 58.7% |

#### トレーニング実施数,正答率 [English 4skills × DONGRI®利用校/月別推移]

[集計期間]2021/8/23～2022/1/23



■ EdTechツールの活用効果にかかる分析と考察

●約140万のトレーニング実績のうち、技能別にみると「Writing」が約40万と特に活用が多い

技能別トレーニング 取組状況（コンソーシアムサービス別）

[集計期間]2021/8/23～2022/1/23

| コンソーシアムサービス名                 | 総実施数      |          |         |           |         |         | 1人当たり平均実施数 |          |         |           |         |      |
|------------------------------|-----------|----------|---------|-----------|---------|---------|------------|----------|---------|-----------|---------|------|
|                              | 全技能       | Speaking | Writing | Listening | Reading | 文法      | 全技能        | Speaking | Writing | Listening | Reading | 文法   |
| EdTech実証校 計                  | 1,666,368 | 294,029  | 514,096 | 113,896   | 377,778 | 366,569 | 59.6       | 10.5     | 18.4    | 4.1       | 13.5    | 13.1 |
| English 4skills × DONGRI®    | 1,381,310 | 261,598  | 394,843 | 100,102   | 314,964 | 309,803 | 62.3       | 11.8     | 17.8    | 4.5       | 14.2    | 14.0 |
| English 4skills × Libry      | 247,592   | 26,707   | 103,489 | 11,604    | 55,914  | 49,878  | 48.3       | 5.2      | 20.2    | 2.3       | 10.9    | 9.7  |
| English 4skills × スクールライフノート | 37,466    | 5,724    | 15,764  | 2,190     | 6,900   | 6,888   | 57.5       | 8.8      | 24.2    | 3.4       | 10.6    | 10.6 |

技能別トレーニング 取組状況 [English 4skills × DONGRI®利用校/月別推移]

[集計期間]2021/8/23～2022/1/23

|      | 全技能       | Speaking | Writing | Listening | Reading | 文法      |
|------|-----------|----------|---------|-----------|---------|---------|
| 全期間計 | 1,381,310 | 261,598  | 394,843 | 100,102   | 314,964 | 309,803 |
| 8・9月 | 481,748   | 55,902   | 165,001 | 25,258    | 102,117 | 133,470 |
| 10月  | 437,671   | 69,686   | 117,122 | 26,259    | 128,394 | 96,210  |
| 11月  | 136,625   | 20,315   | 43,095  | 13,732    | 32,342  | 27,141  |
| 12月  | 186,549   | 62,630   | 40,550  | 22,148    | 29,402  | 31,819  |
| 1月   | 138,717   | 53,065   | 29,075  | 12,705    | 22,709  | 21,163  |



## ■ EdTechツールの活用効果にかかる分析と考察

### ●約123万の課題配信実績（うち正答率は52.4%）

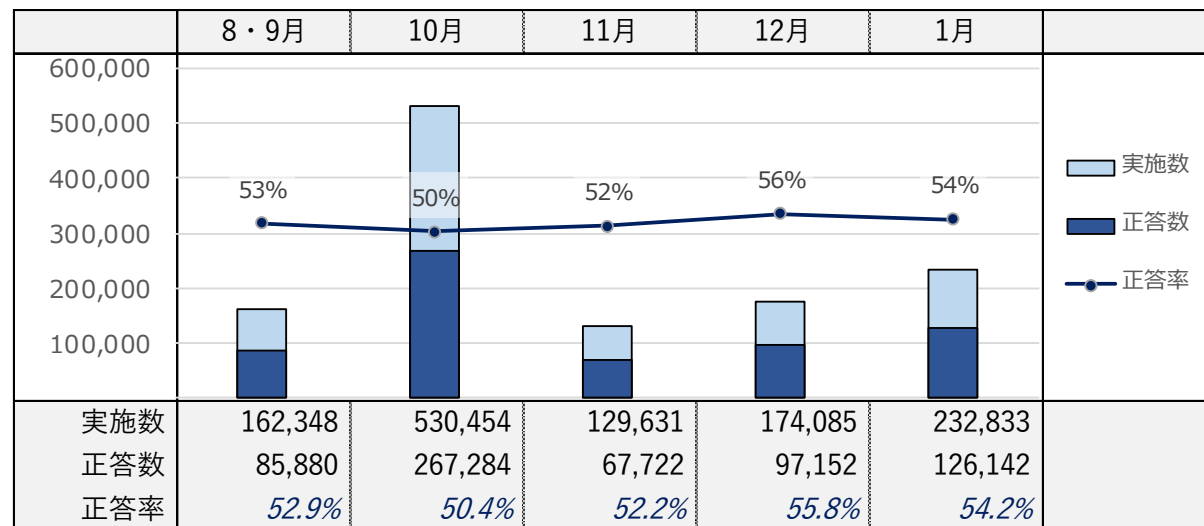
#### 課題配信 取組状況（コンソーシアムサービス別）

[集計期間]2021/8/23～2022/1/23

| コンソーシアムサービス名                 | 学校数 | 全体        |         | 1人当たり平均 |      | 正答率   |
|------------------------------|-----|-----------|---------|---------|------|-------|
|                              |     | 実施数       | 正答数     | 実施数     | 正答数  |       |
| EdTech実証校 計                  | 112 | 1,648,573 | 847,101 | 59.0    | 30.3 | 51.4% |
| English 4skills × DONGRI®    | 87  | 1,229,351 | 644,180 | 55.4    | 29.0 | 52.4% |
| English 4skills × Libry      | 18  | 336,124   | 162,055 | 65.5    | 31.6 | 48.2% |
| English 4skills × スクールライフノート | 7   | 83,098    | 40,866  | 127.5   | 62.7 | 49.2% |

#### 課題配信実施数,正答率 [English 4skills × DONGRI®利用校/月別推移]

[集計期間]2021/8/23～2022/1/23



■ EdTechツールの活用効果にかかる分析と考察

●約123万の課題配信実績のうち、技能別にみると「Listening」が約38万と特に活用が多い

課題配信 技能別取組状況（コンソーシアムサービス別）

[集計期間]2021/8/23～2022/1/23

| コンソーシアムサービス名                 | 総実施数      |          |         |           |         |         | 1人当たり平均実施数 |          |         |           |         |       |
|------------------------------|-----------|----------|---------|-----------|---------|---------|------------|----------|---------|-----------|---------|-------|
|                              | 全技能       | Speaking | Writing | Listening | Reading | 文法・単語   | 全技能        | Speaking | Writing | Listening | Reading | 文法・単語 |
| EdTech実証校 計                  | 1,648,573 | 229,245  | 252,919 | 525,368   | 270,565 | 370,476 | 59.0       | 8.2      | 9.0     | 18.8      | 9.7     | 13.3  |
| English 4skills × DONGRI®    | 1,229,351 | 157,089  | 182,778 | 377,960   | 198,310 | 313,214 | 55.4       | 7.1      | 8.2     | 17.0      | 8.9     | 14.1  |
| English 4skills × Libry      | 336,124   | 53,416   | 54,429  | 114,556   | 57,278  | 56,445  | 65.5       | 10.4     | 10.6    | 22.3      | 11.2    | 11.0  |
| English 4skills × スクールライフノート | 83,098    | 18,740   | 15,712  | 32,852    | 14,977  | 817     | 127.5      | 28.7     | 24.1    | 50.4      | 23.0    | 1.3   |

課題配信 技能別取組状況 [English 4skills × DONGRI®利用校/月別推移]

[集計期間]2021/8/23～2022/1/23

|      | 全技能       | Speaking | Writing | Listening | Reading | 文法・単語   |
|------|-----------|----------|---------|-----------|---------|---------|
| 全期間計 | 1,229,351 | 157,089  | 182,778 | 377,960   | 198,310 | 313,214 |
| 8・9月 | 162,348   | 17,636   | 31,932  | 59,834    | 14,263  | 38,683  |
| 10月  | 530,454   | 74,675   | 69,775  | 155,328   | 87,646  | 143,030 |
| 11月  | 129,631   | 9,412    | 15,572  | 25,768    | 20,181  | 58,698  |
| 12月  | 174,085   | 19,078   | 24,974  | 52,332    | 29,872  | 47,829  |
| 1月   | 232,833   | 36,288   | 40,525  | 84,698    | 46,348  | 24,974  |

## ■ EdTechツールの活用効果にかかる分析と考察

### ●課題配信種別にみると、各技能別・用途別に配信可能なトレーニング・テストの活用が多い

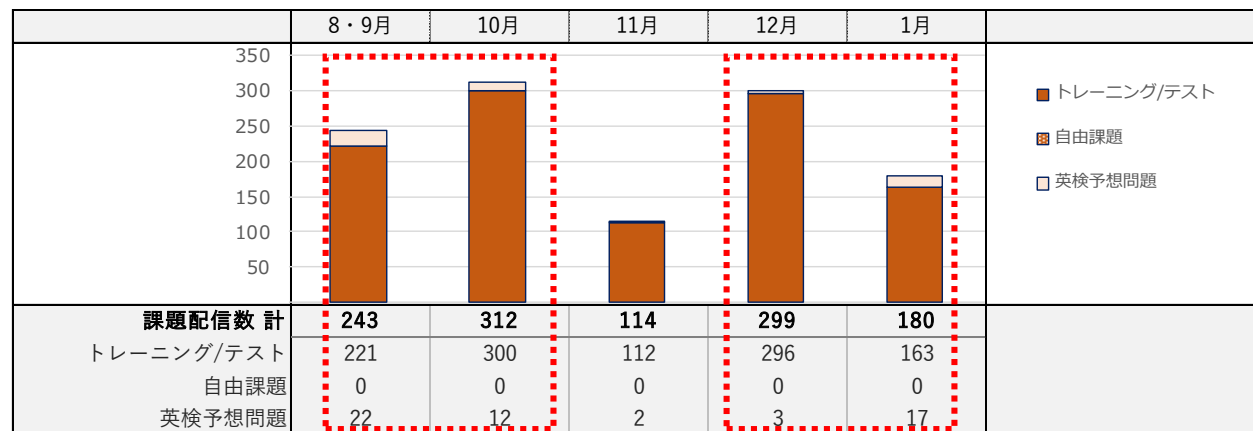
#### 課題配信状況（コンソーシアムサービス別）

[集計期間]2021/8/23～2022/1/23

| コンソーシアムサービス名                 | 学校数 | 課題配信数計 | トレーニング<br>テスト | 自由課題 | 英検予想問題 |
|------------------------------|-----|--------|---------------|------|--------|
| EdTech実証校 計                  | 112 | 1,596  | 1,500         | 1    | 95     |
| English 4skills × DONGRI®    | 87  | 1,148  | 1,092         | 0    | 56     |
| English 4skills × Libry      | 18  | 332    | 316           | 0    | 16     |
| English 4skills × スクールライフノート | 7   | 116    | 92            | 1    | 23     |

#### 課題配信状況 [English 4skills × DONGRI®利用校/月別推移]

[集計期間]2021/8/23～2022/1/23



※事業実施の前半と後半に積極的に課題配信をご利用いただけるよう促進を実施した期間

## ■ EdTechツールの活用効果にかかる分析と考察

### 【当初想定した課題に対する解決】

#### ①遠隔・オンラインの学習環境への対応

(生徒) 先生からの宿題や冬休み課題の時も、自分が好きな時に好きな時間で学習ができた。

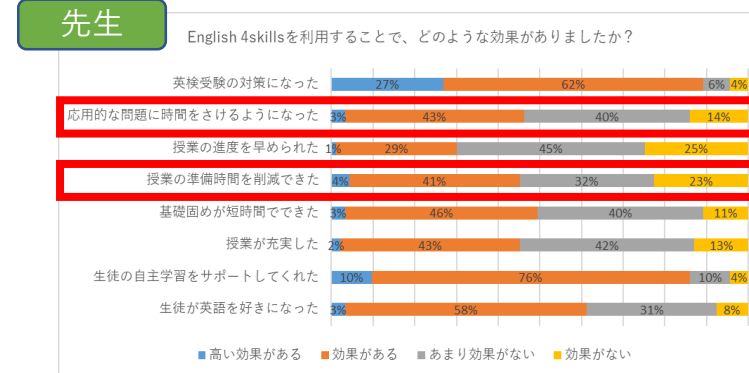
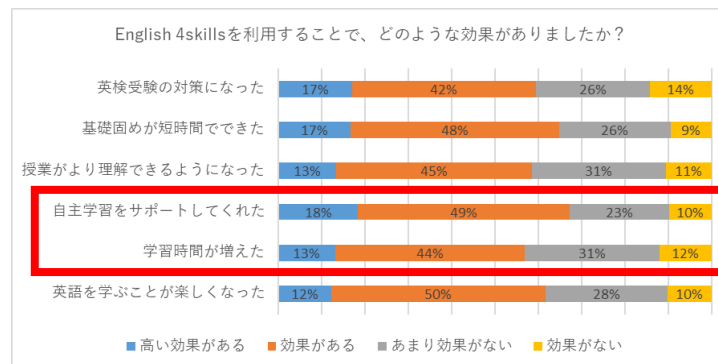
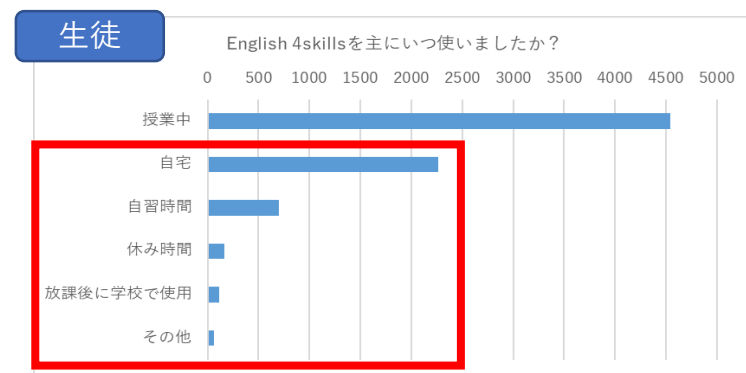
(先生) 学校の授業中に配信した課題を、時間内に解き終わることができなかった生徒が、家庭でも続きを解き進めてくれ、また、その解答を教師側でも遠隔ですぐに確認することができた。

※2022年1月実施アンケートの自由記述コメントより一部抜粋

●生徒：実証校の中には端末持ち帰りNGの学校もあった中でも自宅利用の回答も多く、学習時間が増えたという回答が半数以上得られた。

●先生：E4sを通じた遠隔学習により授業時間の使い方も良い変化があった旨の回答が得られた。

**①の課題に対して、生徒・先生双方で一定の効果が確認できた。**



### 【当初想定した課題に対する解決】

#### ②個別最適な学習への対応

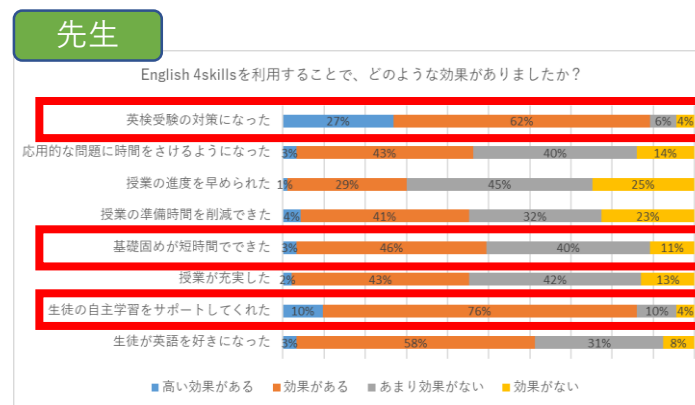
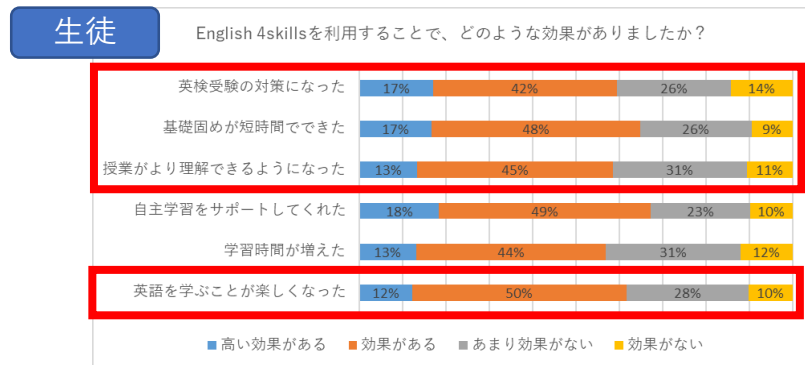
(生徒) 自分の苦手な話すトレーニングも一人で練習ができてすぐ判定も出るので取り組みやすかった。  
また、ゲーム感覚で楽しみながら解き進められて、気づくと目標以外のレベルにも挑戦していた。

(先生) 生徒が自分で学習する級を選べるので学習状況に応じた個別最適な学びにつなげることができた。  
また、「アダプティブ」配信活用で、英語が苦手な生徒も無理なく前向きに課題に取り組めており、特に英検取得をめざす生徒たちは自分の目標に向かい、積極的に取り組んでいた。

※2022年1月実施アンケートの自由記述コメントより一部抜粋

- 生徒：基礎学習と理解促進など、自身の目標や進度に応じた学習に繋がったとされる回答が6割以上。
- 先生：生徒の自主学習サポートツールとして役立った旨の回答を8割以上の先生から得た。

**②の課題に対して、生徒・先生双方で高い効果が確認できた。**





### 【当初想定した課題に対する解決】

#### ③先生の働き方の改善

(先生) Speakingは教師が教室に1人の場合、生徒一人一人個別に確認できる時間が限られていたが、English 4skills を活用すれば、教員の負担なく生徒個別対応の時間を確保できとても助かった。Listeningに関しては、音源探しや録音時間が不要となり、教材準備の大幅な時間軽減につながった。

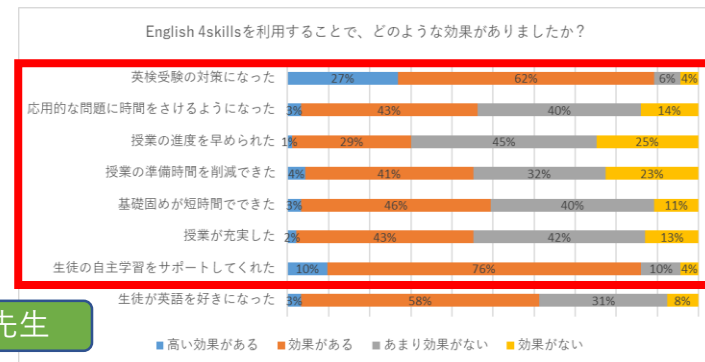
(先生) 一斉に課題配信する場合、設定が非常に簡単でありがたい。また、「アダプティブ」配信することで生徒の状況に合った課題配信ができるため、多くの種類の課題を作る必要がなくなった。特にSpeakingやListeningの課題作成が大変だったが、English 4skillsの導入で負担が軽減した。

(先生) 課題の提出状況や解答内容の確認にも役立っており、生徒の学習進捗状況も一目で分かりやすく、集計などを行わなくても済む。

※2022年1月実施アンケートの自由記述コメントより一部抜粋

●先生：負担の大きかった教材の作成やその準備時間、限られた時間内に生徒一人一人の状況確認を行う時間や負担が軽減された旨の自由記述回答が多かった。

👉③の課題に対して高い効果が確認できた。

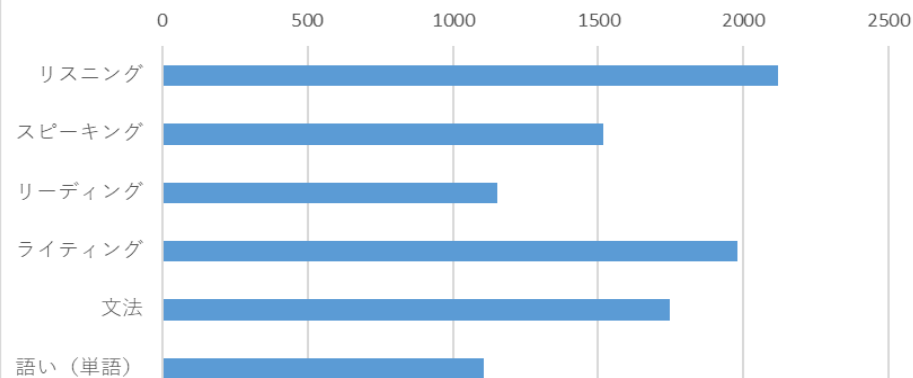


## ■ EdTechツールを活用した児童生徒・教員のコメント感想等

### ●生徒・先生ともに半数以上が「各技能のスキル強化に一定の効果あり」と回答

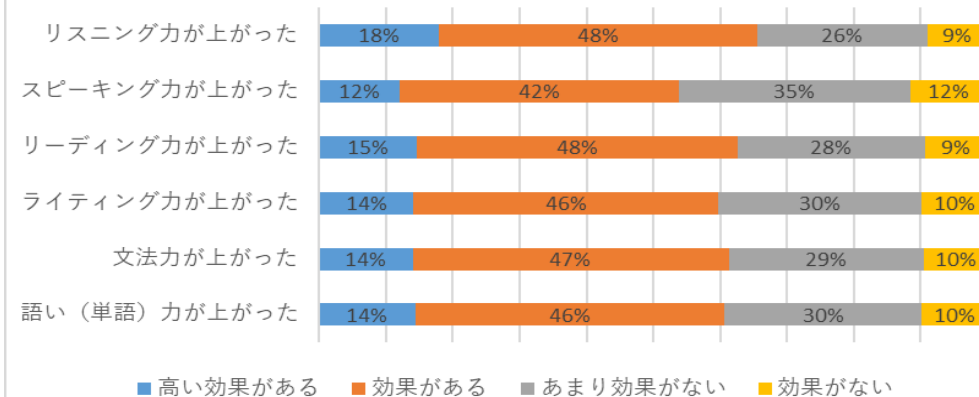
#### 生徒

英語学習で強化したいのは次のうちのどのスキルですか？



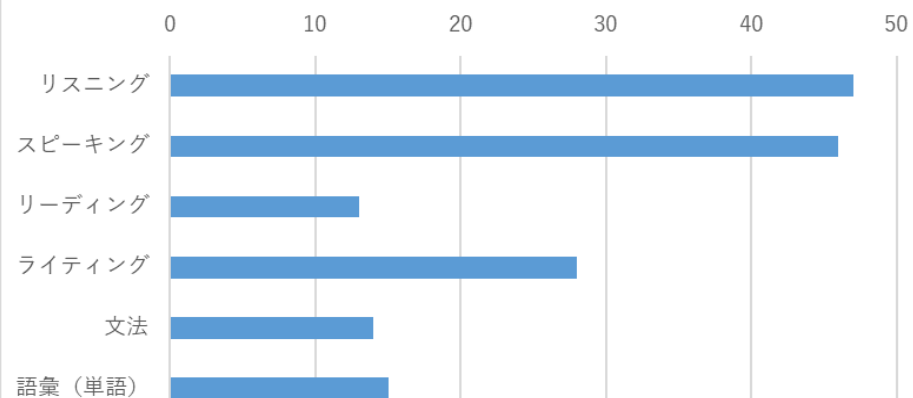
#### 生徒

English 4skillsを利用することで、どのような効果がありましたか？



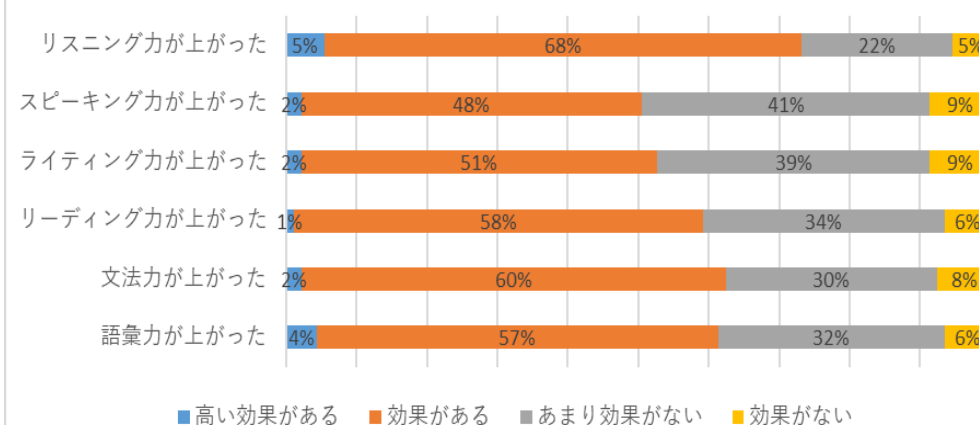
#### 先生

英語学習で強化したいのは次のうちのどのスキルですか？



#### 先生

English 4skillsを利用することで、どのような効果がありましたか？

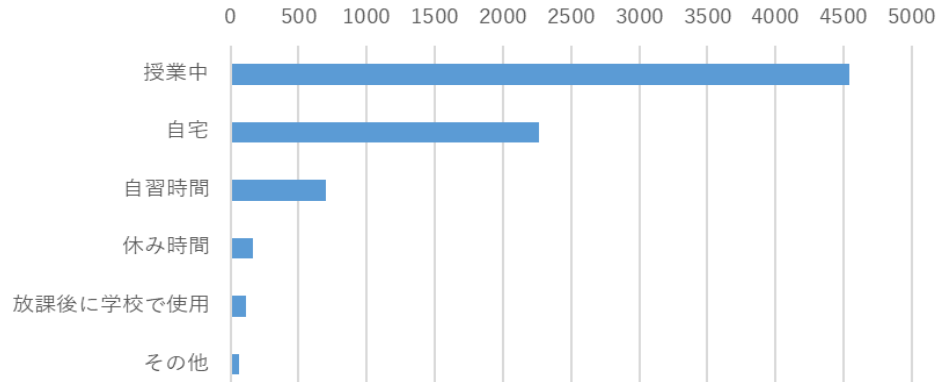


## ■ EdTechツールを活用した児童生徒・教員のコメント感想等

### ●授業利用以外にも、生徒・先生ともに半数以上が「サポートツールとして一定の効果あり」と回答

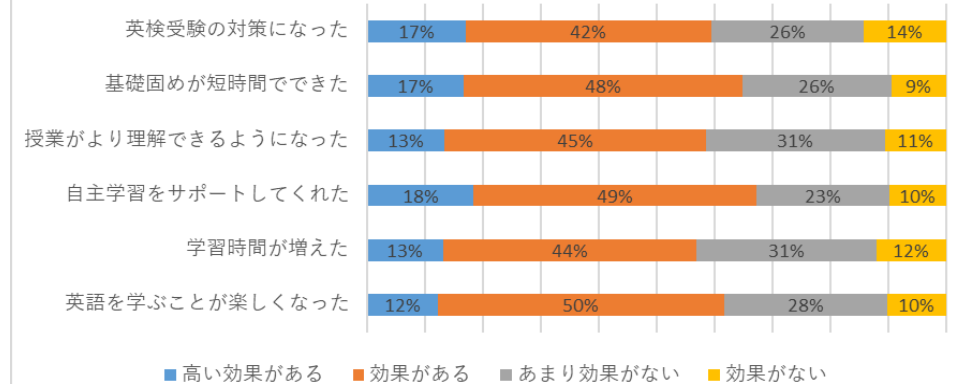
生徒

English 4skillsを主にいつ使いましたか？



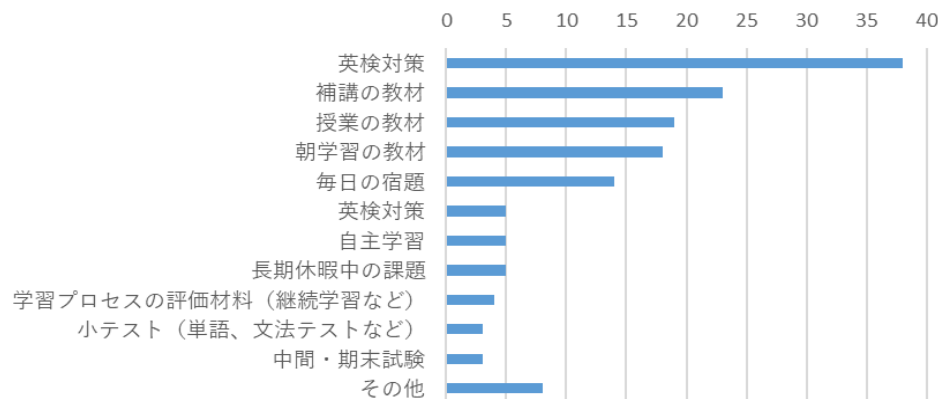
生徒

English 4skillsを利用することで、どのような効果がありましたか？



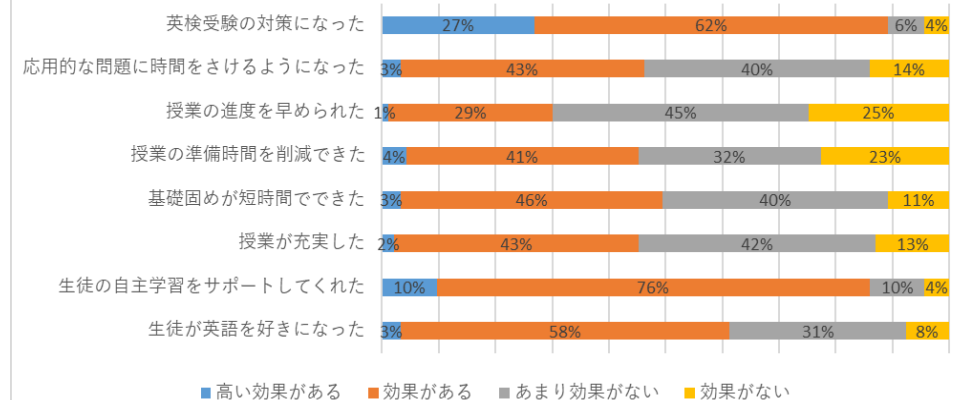
先生

English 4skillsを主にいつ使いましたか？



先生

English 4skillsを利用することで、どのような効果がありましたか？

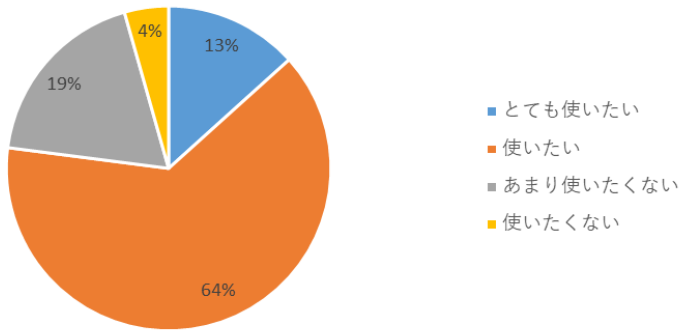


## ■ EdTechツールを活用した児童生徒・教員のコメント感想等

### ●生徒・先生ともに約7割が、「今後もEnglish 4skillsを継続的に使用したい」と回答

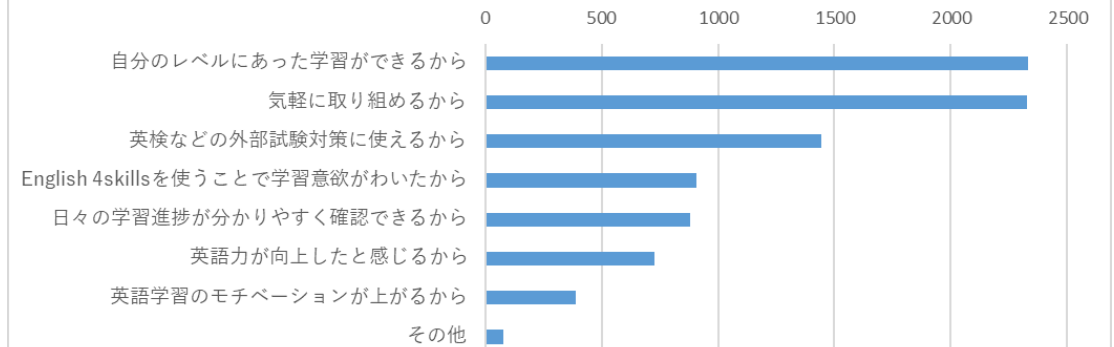
#### 生徒

今後もEnglish 4skillsを使いたいですか？



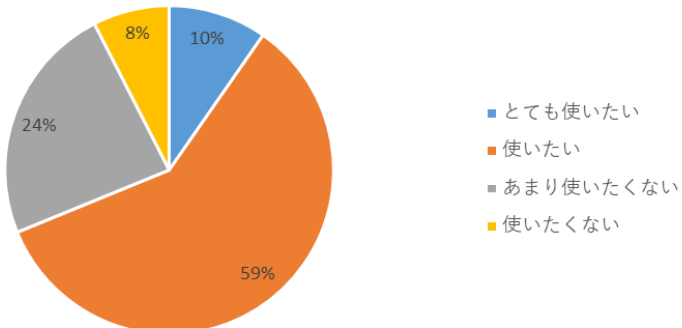
#### 生徒

「とても使いたい」「使いたい」と答えた方に伺います。  
その主な理由を教えてください。



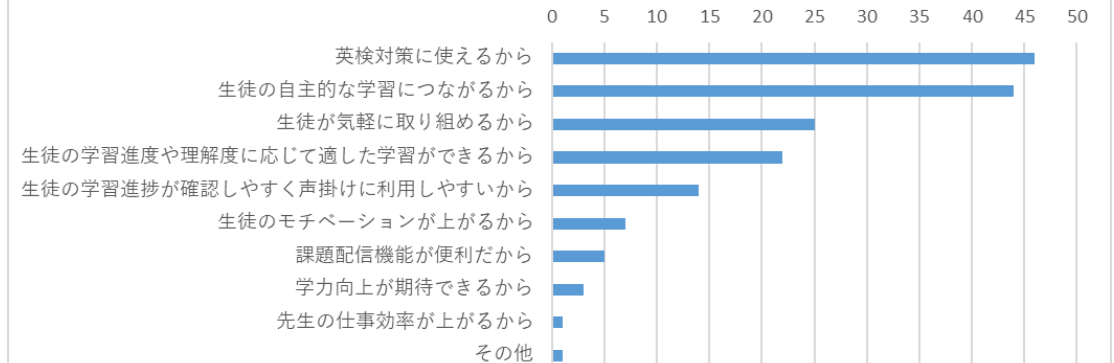
#### 先生

今後もEnglish 4skillsを使いたいですか？



#### 先生

「とても使いたい」「使いたい」と答えた方に伺います。  
その主な理由を教えてください。



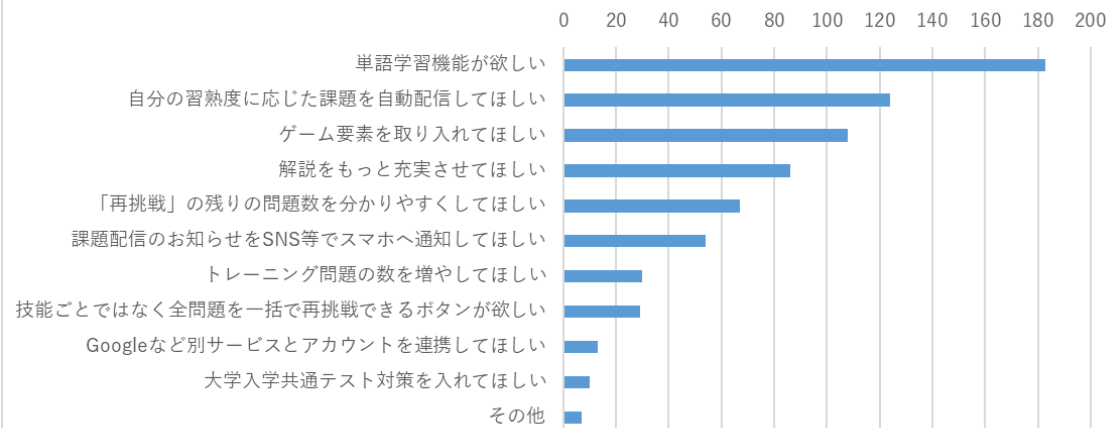
## ■ EdTechツールを活用した児童生徒・教員のコメント感想等

●生徒は学習意欲の観点から、“単語機能”や“ゲーム要素の取り入れ”への要望が多い

●先生は授業活用や負担軽減の観点から、“教科書連動”や“解説の充実”、自動配信等の要望が多い

### 生徒

どういったアプリ機能、サービス内容であればもっと使いたいですか？



### 先生

どういったアプリ機能、サービス内容であればもっと使いたいですか？



本実証で得られた全国の生徒、先生の貴重なご意見を更なる機能拡充とサービス品質改善に繋げていく

## ■ EdTechツールの導入・運用における課題とその改善策

### 【課題（期間/体制面）】

1. 公募要領発出から申請期間がタイトで、事業者⇄自治体⇄学校間の実証計画に対する合意形成が不十分なケースや当事者ごとに認識のバラつきがあり、事業者から積極的な導入サポートが難しいケースあり
2. コロナ影響による変則的な予定変更だけでなく、導入先によってICT支援員有無やICT活用キーマン先生の有無にも左右され、コンソーシアムで提供する複数ツールの同時並行での活用が難しいケースあり

#### 改善策⇒

- 自治体+学校との3者による次年度を見据えた導入前の綿密な実証計画すり合わせ
- ツール特性とサポート範囲を踏まえた実証校選定、合意形成、実証取組みの優先順位引き上げ
- 3者定例会開催による伴走（進捗状況確認・振り返り、課題洗い出し、事例共有等…）

### 【課題（環境/運用面）】

1. PCやタブレットが整備されていても、持ち帰り禁止となっていることで授業などの在校時のみの限定的な利用に制限され、宿題利用が不可であったり、児童・生徒の自発的な学びの機会を阻害するケースあり
2. 音源や発話などの音声を利用する英語という教科性質上も、イヤホンやヘッドホンが未配備（配備遅れ含む）で、ツールの一部しか利用が促せないケースあり

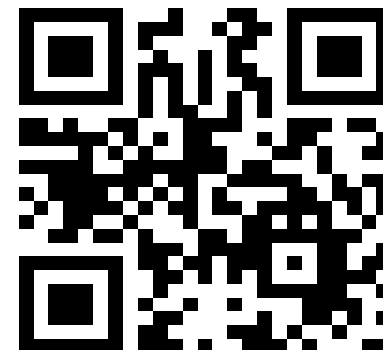
#### 改善策⇒

- 持ち帰りの許可をいただくか、難しい場合は校内での朝学習などの授業以外でのICT活用時間を拡大し、個別最適な学びの機会を増やす柔軟な対応を働きかけ
- 公平性担保のためにも、必要機器としてイヤホンやヘッドホン配備を促しつつ、すぐの改善が至らない場合は、実証期間中のみ事業者貸与等でツールをフル活用できるようにサポート



## ■ 会社概要

- 社名 株式会社NTTドコモ  
NTT DOCOMO, INC.
- 代表取締役社長 井伊 基之
- 所在地 東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー
- 資本金 949,679（百万円）（2021年3月31日現在）
- 従業員数 8,433名（当社グループ28,113名）（2021年3月31日現在）
- 主な事業内容
- <通信事業>  
携帯電話サービス（5Gサービス、LTE（Xi）サービス、FOMAサービス）、光ブロードバンドサービス、衛星電話サービス、国際サービス、各サービスの端末機器販売など
  - <スマートライフ事業>  
動画配信・音楽配信・電子書籍サービス等のdマーケットを通じたサービス、金融・決済サービス、ショッピングサービス、生活関連サービスなど
  - <その他の事業>  
ケータイ補償サービス、法人IoT、システム開発・販売・保守受託など
- ホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>
- English 4skills サービス概要、操作方法などに関するお問い合わせ先
- ・ドコモ スマートホームセンター 0120-085-360 （9:00-20:00 年中無休）
  - ・English 4skills webサイト <https://e4skills.com/>（お問い合わせフォームより）



### 【EdTech導入補助金2021活用による成果】

- 日頃、自社のみで行うツール提案も、コンソーシアムならではの複数企業・ツールと連携した提案活動により、新規・既存顧客含め新たな切り口と課題の発見に繋がった。
- 収支観点からも各自治体や学校が要望する期間でトライアル利用、検証ができないケースも多いが補助金を活用することで、事業者も導入先も双方負担が軽減され、ツール検討に踏み出せ、最終的には次年度の予算確保・本格導入に繋がった。
- 補助金を活用してツールの利用校が増えることで見えてくる新たな課題（サービス性改善、保守運用強化の必要性等）も見え、自社ツールを見つめ直す機会に繋がった。

### 【EdTech導入補助金2021活用による課題】

- 2020、2021年度の補助金ともに夏以降の補助金採択で、ツール利用・検証が2学期以降にしか行えないが、次年度本格導入に向けた予算調整・提案は、実証が始まる前（1学期中）の時期には意思決定が必要な場合も多いため、議会付議を遅らせることが不可の場合は、有償契約化までの空白期間を発生させない新たな契約方法の整備や運用対処等、様々な切り口での検討が必要。



は文教シェアNo.1の **辞書アプリ** です。

### ① 導入学校数 No.1

文教向け辞書アプリの先駆けとして2014年から学校向けに提供をはじめ、今では全国250校以上の学校で採用されています。ブラウザ版の提供、サブスクリプション方式への転換など、時代を先どったサービスを提供し続けています。

### ② 辞書の組み合わせ No.1

小学生～高校生までレベルに合わせたコンテンツを用意。購入可能なタイトルは40冊以上で、その組み合わせはなんと1兆通り以上！ライセンス期間も自由に設定可能で、どんな学校の要望にも一番応えることができる辞書アプリです。



### ③ 対応プラットフォーム No.1

タブレットPCからスマホまで。  
学校導入されている端末にはもちろん、BYODで様々な端末が利用される学校でも利用可能です。アプリを使えば通信環境がないオフラインでも利用できます。



### ④ 将来性・可能性 No.1

DONGRIはアプリ単独利用はもちろん、文教市場で多く利用される「Microsoft365」や「Google Workspace」との連携も機能も便利に利用できます。ログイン時のアカウント連携やアドイン機能でシームレスに使えます。

## ● 辞書・参考書の物理的負担

- ・ 紙辞書は重く持ち運びが大変
- ・ 教科書のサイズも大きくなっている
- ・ 電子辞書とタブレットの2台持ちも煩雑

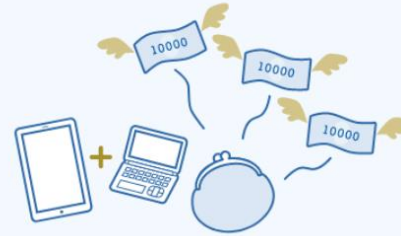
電子辞書とタブレット/PCの2台持ちになるの？持ち運びが大変！



電子辞書から辞書アプリへ移行。  
2台持ちの不便さをアプリで解決！



家庭でタブレット/PCを購入する場合、電子辞書は経済的にも重荷では？



教科書と同様に入学時に生徒(家庭)が購入。アプリで家庭の負担が軽減！



## ● 辞書・参考書の経済的負担

- ・ 電子辞書もタブレットも購入の場合、家庭への経済的負担増
- ・ 学習に必要とされる紙辞書や参考書の種類も増えている

## ●活用事例（白岡市）

### 1.授業内の活用について

- ・ 国語・英語の授業内で新出単語や重要語をモニターに写し、生徒に説明。
- ・ 英和辞典で新出単語を生徒に調べさせ、単語や例文の読み上げ機能を使い、発音を確認。



※Windows版DONGRIの画面

### 2.家庭学習時の活用について

- ・ 宿題や塾などでわからない単語をDONGRIで検索
- ・ 発音の確認

※新型コロナウイルス感染症の影響を最大限考慮し、自治体・学校へのサポート対応をすべてオンラインを利用した方法で行ったため、画像はありません。

## ● サポート事例

### 1.導入前辞書アプリDONGRI説明会をオンラインにて実施（下仁田町）

- ・ 辞書アプリDONGRIの説明。
- ・ 操作方法の共有
- ・ サポート体制とサポート窓口を紹介。



### 2.導入後不具合対応

- ・ 学校/教育委員会からの問い合わせ対応（下記参照）
- ・ パスワード紛失生徒への対応方法を共有
- ・ ログイン方法を動画で説明 等

※説明会に使用した資料

※新型コロナウイルス感染症の影響を最大限考慮し、自治体・学校へのサポート対応をすべてオンラインを利用した方法で行ったため、画像はありません。



## ● 活用効果について（児童・生徒）

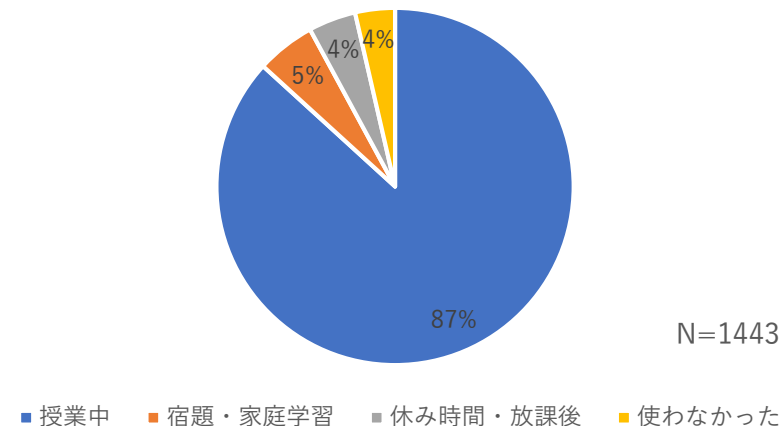
### 辞書の利用シーン

- 全体の87%が授業中に利用。
- 授業中の端末活用率向上に効果あり。
- 辞書を利用しなかった割合は4%と低く、辞書自体が教材として有用であることが解る。
- 宿題や家庭学習での利用も一定数あり、端末の持ち帰り利用にも役立っている。

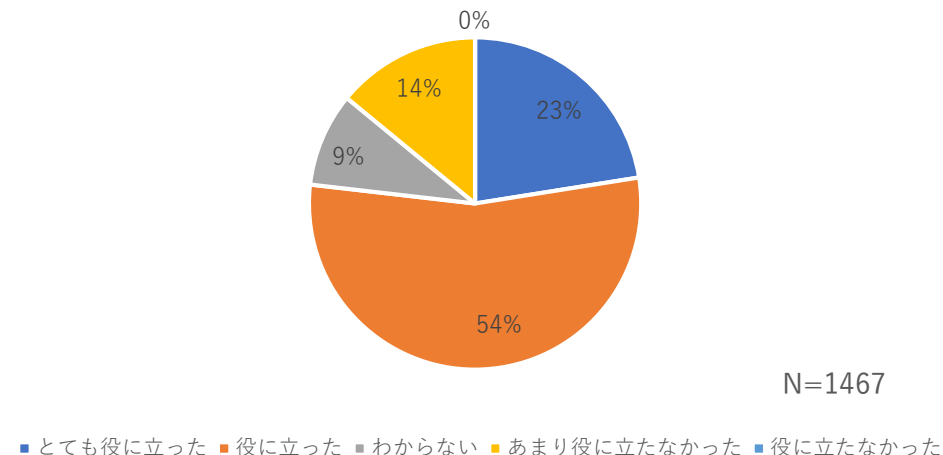
### DONGRIの利用効果

- 全体の77%が「とても役に立った」「役に立った」と回答。
- 今後は学習効果や成績向上との結びつきを調査するための機能実装を行う必要がある。

児童・生徒の利用シーン



DONGRIは役に立ったか

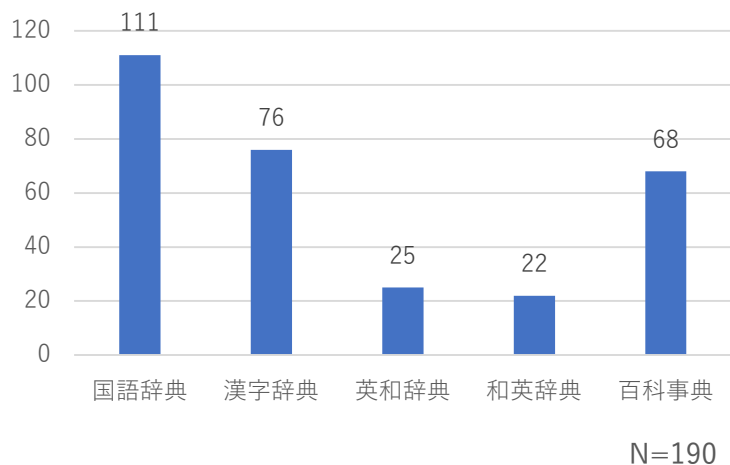


## ● 利用辞書の分析と考察（児童・生徒）

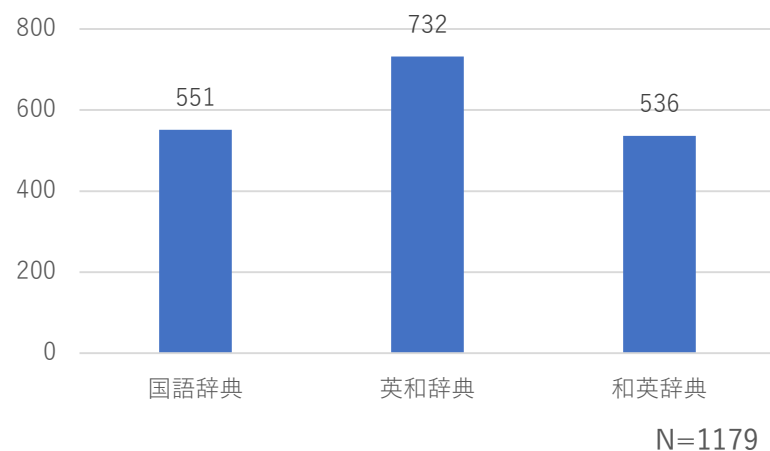
### 学校種別による利用辞書の違い

- 学校種別に関係なく国語辞典は高い利用率である。
- 小学校でも約13%の児童が英語系辞書を利用している。  
→外国語授業でも、英作文などの創作性活動に辞書は有用である。
- 高校生の利用率が低いのは、ネット検索に慣れているためと考えられる。

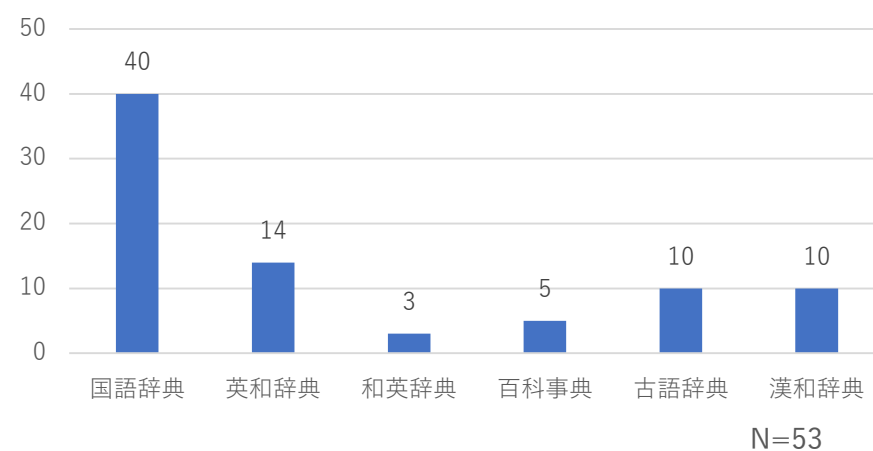
小学生の利用辞書



中学生の利用辞書



高校生の利用辞書



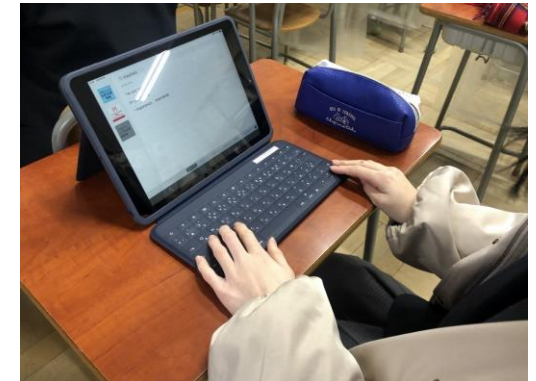
## ● 利用後のコメント

### 教職員

- ・ 紙と同じレイアウトで表示され、挿絵や例文も豊富で気に入った。（中学校教諭）
- ・ 重たい紙辞書を持ち運ばなくてよく、荷物を減らすことができた。（高等学校教諭）
- ・ 辞書は小さい文字で読みにくいが、タブレットの画面で大きく表示し拡大縮小も自由にできる。（中学校教諭）
- ・ 児童が辞書よりもインターネット検索に頼る癖がついてしまっていたためあまり活用が進まなかった。（小学校教諭）

### 生徒・児童

- ・ 調べた単語を保存でき、復習に利用できた。（中学校生徒）
- ・ 英単語の意味や漢字の書き順がわかって役に立った。（小学校児童）
- ・ 「DONGRI」という名前がかわいくて気に入った。（小学校児童）
- ・ 古語の動詞活用表が表にまとまっていてよく使った。（高等学校生）
- ・ 写真や音声が出てきて、わかりやすく学べた。（中学校生徒）



写真：学校導入の端末でDONGRIを利用する生徒の様子  
（提供：枚方市教育委員会）

## ● 当初想定した課題に対する解決

ヒアリング実施：枚方市教育委員会

### 1. 学校辞書・参考書の物理的負担軽減

辞書は重かったのでこれまで学校に持ってくるよう生徒に指示することはできませんでした。教室に数冊ある学校の辞書を生徒が分担して使っていましたが、1人1台端末を活用することにより、生徒は待ち時間なく単語を調べることができるようになりました。

(枚方市 中学校教諭)



やはり、辞書は重くて持ち運びできないために、学校での学習と家庭学習で辞書が効率的に利用できていない現状があった。アプリに置き換えることで利用シーンを選ぶことなく、個人利用できる環境が整ったことでこの課題については解決できたと言える。

## ● 当初想定した課題に対する解決

ヒアリング実施：枚方市教育委員会

### 2. 辞書・参考書の**経済的負担軽減**

今回はEdTech事業で無償で使わせていただいているのでよくわかりません。辞書は安くはないので生徒に一律に同じものを買うように指示することはしていません。卒業記念品として小学校卒業時にもらっている場合は、それを使うよう指示しています。

(枚方市 中学校教諭)



公立中学校では辞書の購入は進んでいないため、そもそも経済的負担がなかった。高額だから買わせられないを理由に辞書利用が進んでいない現状。学習効果の高い辞書を利用するために、タブレットに標準搭載することで端末の利用率の向上とさらなる学習効果のアップを今後の調査内容としたい。

## ● 活用を通して見えたさらなる課題と改善策

### 生徒・児童のコメントから見る課題

- わからない言葉を調べるのは検索サイトを使ったほうが早くて便利。
- タブレットを立ち上げるよりもスマートフォンを使う。
- アカウント情報（ID、パスワード）を忘れてしまいログインできない。

### 課題解決のためのアプローチ

- アプリ版インストールの普及  
→今回の実証ではアプリ版ではなくWeb版を主に使用。起動時に毎回ログイン手順が発生し煩雑に。アプリ版では立ち上げからすぐに検索できる。
- 外部アカウント連携の普及  
→今回の実証ではアプリ独自のアカウントを利用したため、パスワード忘れで利用できない場面が見られた。普段から利用する外部アカウント（GoogleアカウントやMicrosoft365アカウント）との連携は可能。実際の利用には外部アカウントを利用するなどすればパスワード忘れによる利用不可は防ぐことができる。  
今後は生体認証の実装などより低年齢層も利用可能な仕組みを実装していく。



## ■ 会社概要



|             |                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会社名         | イースト株式会社                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                 |
| 設立          | 1985年5月4日                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                 |
| 資本金         | 8,230万円                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                 |
| 主要株主        | 役員、社員、マイクロソフト株式会社（独立系ソフトハウス）                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                 |
| 従業員数        | 100名（役員 6 名、従業員94名） 2022年1月現在                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                 |
| 加盟団体        | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本電子出版協会(JEPA)</li> <li>ICT CONNECT 21(ICON)</li> <li>International Digital Publishing Forum(IDPF)</li> <li>日本IMS協会</li> </ul>                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教科書教材協議会(DiTT)</li> <li>Windowsクラスルーム協議会(WiCC)</li> <li>マイクロソフト認定ゴールド パートナー</li> <li>先端IT活用推進コンソーシアム(AITC)</li> <li>Oracle Partner Network Member Partner</li> </ul> |
| 主な取引先       | <ul style="list-style-type: none"> <li>JTB</li> <li>イーブックイニシアティブジャパン</li> <li>インテリジェクノスフィア</li> <li>NTTコミュニケーションズ</li> <li>KDDI</li> <li>サガテレビ</li> </ul>                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>ソースネクス</li> <li>ソニー</li> <li>東証コンピュータシステム</li> <li>日本マイクロソフト</li> <li>リアライズ・モバイル・コミュニケーションズ など</li> </ul>                                                                |
| 出版、新聞業界の取引先 | <ul style="list-style-type: none"> <li>医学書院</li> <li>旺文社</li> <li>三省堂</li> <li>JTBパブリッシング</li> <li>自由国民社</li> <li>山川出版社 など</li> </ul>                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>中日新聞社</li> <li>日本経済新聞社</li> <li>日本食糧新聞社</li> <li>毎日新聞社</li> <li>読売新聞社</li> <li>共同通信社 など</li> </ul>                                                                       |
| 得意分野        | <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows製品群を使った業務システムの開発・運用</li> <li>XMLコンテンツ作成・検索システムの開発</li> <li>日本語関連処理、他国語処理、外字フォントなどの漢字処理</li> <li>スマートデバイス（iPhone,Android）アプリケーションの開発</li> <li>EPUBの推進、及び電子書籍関連システムの開発</li> <li>得意言語：C＃</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                 |
| 問い合わせ先      | イースト株式会社 教育コンテンツ事業部 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-22-8<br>担当：松井、鳥羽、正木<br>E-mail：info@east-education.jp<br>TEL：03-3374-0544 FAX：03-3374-2998                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                 |